

平成 29 年度市民対話集会会議録 (要約版)

日 時：平成 29 年 10 月 15 日（日）18 時 00 分
場 所：むらさきかん

第7回市民対話集会会議録（要点）

- 1 日時 平成29年10月15日（日）18時00分～19時00分
- 2 場所 むらさきかん
- 3 団体 藤川まちづくり協議会 60名
- 4 内容
 - ① 開会
 - ② 市政ビデオの放映
 - ③ 市長挨拶・説明
 - ④ 団体代表要望・意見等
 - ⑤ その他要望等

（団体要望）

藤川地区の歴史文化資産や伝統の継承について

質問

藤川地区の歴史的建造物を保存・活用することや、伝統的なお祭りなどを継承していくことは、大変重要な活動だと考えている。これに関する市の役割及び支援制度について聞かせていただきたい。

回答（市長）

市では、平成28年5月に国から歴史的風致維持向上計画の認定を受け、歴史文化資産を活かしたまちづくりへの取り組みを進めている。その中に、歴史上の価値の高い建造物を歴史的風致形成建造物に指定する制度があり、平成29年6月には藤川町の十王堂を指定している。また、これに伴い、指定された建造物の保全や、伝統的活動の継承に必要な道具の修理に係る費用の一部を助成する制度も実施している。

むらさき麦のPRについて

質問

平成6年にむらさき麦を復活してから、20数年が経過した。その間、各種イベントの開催や商品・食品の開発、オーナー制度の創設などによって普及とPRに努めてきたが、市としてさらなるPR策を考えているか。

回答（拠点整備担当部長）

これまでに広報誌や市制施行100周年記念誌などでむらさき麦を取り上げ、PRに努めてきた上、民間でもむらさき麦を利用した商品の開発・販売がされるなど、認知度は高まっているところである。また、現在、市ではまちの魅力向上のためにシティプロモーション活

動に取り組んでいるが、そこで岡崎の食文化を代表するものとして八丁味噌、法性寺ねぎと並べ紹介している。今後も情報発信の機を捉えて、藤川宿とむらさき麦をセットにしてPRしていきたい。

回答（市長）

新潟では、地元の農業者が東京の大学とタイアップして、わらで大きなゴリラやライオンを作って観光に供しているケースがある。岡崎市にも農業者が多く、芸術学部をもつ大学があるので、これと同じような活用ができると面白いのではないかな。

藤川駅跨線橋のエレベーター塔壁面の活用について

質問

藤川町のシンボル、及びむらさき麦のPR塔として、藤川駅跨線橋のエレベーター塔の壁面を活用したいと考えているが、検討していただけないか。

回答（拠点整備担当部長）

結論としては、エレベーター塔をPRに活用することは可能である。原則的には、屋外広告物法の定めによって、施設名称を示す以外の用途で看板を設置することはできないが、今回の提案は地域の活性化につながる上、高い公共性もあると考えられるので、景観審議会での審議・承認を得れば設置することは可能である。また、協議会で看板を設置されるのであれば、財政的な支援も用意しているのでご利用いただきたい。

回答（市長）

海外ではビルや倉庫の壁に絵が描いてあるなどして、大変面白いと思う。法律の定めがあるのですぐには難しいが、こういったものを上手に活かしていくと、まちが楽しい場所になるのではないかな。

藤川宿の案内板等のデザイン統一化について

質問

これまでに藤川宿で整備されてきた案内板や解説板のデザインがバラバラで、一部には老朽化しているものもある。デザインを統一し、すっきりとした案内板にすることで、宿場町にふさわしいものに改めたいと考えるが、いかがかな。

回答（拠点整備担当部長）

案内板や解説板の不統一は、藤川地区に限らず市内全域で生じている課題だと認識している。これに対処するため、市では平成29年4月にまちづくりデザイン課を立ち上げ、市内のサインに統一感をもたせる取り組みを始め、整備基本計画も策定したところである。こ

の計画に基づきサインの統一に努めるとともに、民間のかたがたが設置しようとする場合には、事前に相談していただけるように呼び掛けていきたい。

回答（市長）

海外の案内板には、それ自体が観光名所になっているようなセンスのよいものもあるので、そういったものを岡崎のまち中に作りたい。また、長野ではまち中に小さな灯籠を設置し、それを観光案内に活用しているところもあるので、石のまちである岡崎でも同じようなことができないものかと考えている。

まちづくり協議会の情報交換について

質問

岡崎市では東海道沿いに各町にまちづくり協議会ができていますが、それぞれがバラバラに活動している状態である。素晴らしい岡崎のまちをつくっていきたいという思いは共通なので、市内でまちづくり協議会の情報交換をする機会が得られないか。

回答（拠点整備担当部長）

ご提案の内容は、今後、それぞれの地域でまちづくりに取り組んでいただく上で、非常に大切なことだと考えている。すぐには難しいが、実現できるように努力したい。

教育への投資について

質問

自分が通っている高校は部室などが古く、卒業生の寄付で改修をしている状況である。岡崎市のさらなる教育への投資について、考えを聞かせていただきたい。

回答（総合政策部長）

小学校・中学校は市立ということで、エアコンなどを始め少しずつ設備を改善するように努力はしているが、高校は全て愛知県立なので、市の権限の外に当たる。機会があれば県に伝えるようにしたい。

むらさきかんと名鉄線路の間の道路について

質問

むらさきかんと名鉄線路の間の道路が、車の通りが多いわりに狭い。子どもたちの通学や通勤でよく利用される道なので、拡張していただけないか。

回答（拠点整備担当部長）

過去に用地の協力が得られなかったこともあり、現在のような形になっている。それでもできる限り舗装をさせていただいたという経緯があるので、ご理解いただきたい。

映画のロケの誘致について

質問

これから始まるドラマのロケが、豊橋で行われたようである。岡崎は同じ三河地区で、豊橋からも 30 分程度で来られる上、城や素晴らしい景観もあるので、まちでロケをしてもらえるようなアピールをしてはいかがか。

回答（市長）

今進めている乙川リバーフロント計画の中で、フィルムコミッション（ロケ誘致）のことも考えていて、映画などの舞台として使っていただけるような景観を少しずつ整えたい。地元のことなので過小評価しがちだが、リバーフロント計画は全国的にも注目されている様子なので、こちらからも一所懸命アピールしていきたい。

回答（総合政策部長）

岡崎も以前にドラマの舞台にさせていただいたことがあり、そのときの制作会社とのつながりはある。フィルムコミッション活動は継続して行っていくので、リバーフロントや歴史まちづくりによってロケ地となり得るような整備が進めば、もっと誘致できるようになるのではないかな。

町内会で設置する看板について

質問

市で設置された案内板等以外に、町内会で設置したものもある。中には老朽化しているものがあるので建て替えていかねばならないが、市として、デザイン等の統一感に関する助言や費用の補助などは考えていただけないか。

回答（拠点整備担当部長）

案内板等の設置・更新をされる際には、ぜひ事前に相談をしていただきたい。ただ、助成金は今のところ用意がなく、難しいのではないかと考えている。

回答（市長）

案内板の設置は本当に重要な問題だと捉えている。案内板の設置が景観を台無しにしてしまうケースもあるので、地元のかたがたと相談して、効果的な所に邪魔にならない形で、しかも見やすいものを設置しなければならない。

旧東海道の交通渋滞について

質問

旧東海道に接続する道路の整備などによって車の流れが変わったためか、朝の通勤時間帯に交通渋滞が発生し、通学に支障も出ている状態である。何か対策はないか。

回答（総合政策部長）

市道に関しては順次整備を進めている段階であるが、近隣の事業所への通勤によって大量の交通が発生するなど、簡単にはいかない問題である。場合によっては警察との協議も必要な問題かもしれないが、ひとまずは持ち帰って道路部局と相談したい。